

# 新 鉄 鋼 標 準 試 料 一 覧 表

## 日本鉄鋼協会鉄鋼標準試料委員会

標準試料は分析方法の検定、分析値精度のチェック、その他審判分析の標準としても必要なものであります。このように優秀な材料を作るには優秀な標準試料がなくてはならないのは当然です。従つて、標準試料の整備状況が、その国の産業レベルをあらわすと言つても過言ではないでしょう。

日本鉄鋼協会では、従来より八幡製鉄(株)他数社に 23 種類の鉄鋼標準試料の作成を依頼し、分譲してまいりました。しかしながら、海外諸国の鉄鋼標準試料の現状と比較しますとわが国の標準試料は貧弱であるため、国内の強い要望に答えて、今回鉄鋼各社の絶大なご協力を得てこの事業を拡大することになりました。すなわち、機器分析法の JIS 化を機会に化学分析用の他に機器分析用、(発光分光分析、蛍光 X 線分析兼用)標準試料を作成し、表 1 のように種類も 88 種にわたつております。今後さらに逐次充実し皆様方のご要望にお答えしたいと考えております。

### 推薦の言葉

鉄鋼品質の確保と向上には、その化学成分を保証しなければならない。成分分析の方法は日進月歩のものがあり、とくに近年の機器分析方法の発達は著しいものがある。しかしながら、これら諸種の分析方法の基礎となるのは標準試料であり、これなくしては分析精度の向上ははかりえない。従来わが国においては、残念ながら標準試料の整備が欧米諸国に比して十分でなく、やむなく若干の鋼種については輸入に依存せざるをえなかつた。

今回(社)日本鉄鋼協会が数社の製鉄会社の協力のもとに万難を排して標準試料を整備されることになつたのは、標準化事業の推進、製鉄技術の発展に資するところも大きいものとする。本試料が十分に整備され、広く各製鉄所で使用されることを望む次第である。

工業技術院長 馬 場 有 政